

参
照

各省豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ要求書

外務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ要求書

憲法第六十二條第二項ニ據リ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件左ノ如シ

家屋借入

在西班牙公使館

一借料 一箇年西貨壹萬貳千(ハセタ)

一借入期限 家屋借入ヲ爲シタル日ヨリ向フ五箇年間

右ハ新設公使館ニ充用スル爲メ前記ノ條件ヲ以テ家屋借入ヲ要ス

在牛莊領事館

一借料 一箇年金貨千八百圓

一借入期限 家屋借入ヲ爲シタル日ヨリ向フ五箇年間

右ハ一箇年金貨千貳百圓ヲ以テ家屋借入ヲ爲シタル日ヨリ向五箇年間豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件去ル

明治三十年ニ於テ帝國議會ノ協贊ヲ經タルモ爾來館務年ヲ追フテ増加シ目下館員ノ増遣ヲ要スルモ居住セシムルノ室ナ
キヲ以テ協議ノ末家主ヲシテ相當ノ増築ヲ爲サシメントス由テ更ニ前記ノ條件ヲ以テ家屋借入ヲ要ス

内務省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ要求書

憲法第六十二條ニ據リ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件

長崎市水道費補助

長崎市ハ年々人口増加シ殊ニ港灣改良工事ノ竣功ニ至テハ益繁盛ヲ加フヘキモ既設ノ水道ニテハ已ニ給水ノ缺乏ヲ告グ
ルニ依リ之カ増設ノ計畫ヲナシ市公債ヲ募集シ起工セントスルニ總工費百貳拾八萬貳千圓ヲ要シ市民ノ負擔ニ堪ヘ難キ
ヲ以テ國庫ノ補助ヲ出願セリ依テ其已ムヲ得サルノ必要ヲ認メ四拾貳萬七千圓ヲ本年度以降六箇年間ニ左ノ割合ヲ以テ
補助セントス但シ本年度ハ歲出臨時部第一款第十七項ニ屬ス

金壹萬圓	明治三十三年度
金八萬參千五百圓	同 三十四年度
金八萬參千五百圓	同 三十五年度
金八萬參千五百圓	同 三十六年度
金八萬參千五百圓	同 三十七年度
金八萬參千圓	同 三十八年度

赤間關市水道費補助

赤間關市ハ船舶交通ノ咽喉ニシテ軍事上ノ關係モ少カラサル要地ナルニ飲料水不賈ナルヲ以テ水道布設ノ必要ニ迫リ之
カ設計ヲナシ市公債ヲ募集シ起工セントスルニ總工費七拾五萬圓ヲ要シ市民ノ負擔ニ堪ヘ難キヲ以テ國庫ノ補助ヲ出願

セリ依テ其已ムヲ得サルノ必要ヲ認メ貳拾五萬圓ヲ本年度以降六箇年間ニ左ノ割合ヲ以テ補助セントス但本年度ハ歳出臨時部第一款第十八項ニ屬ス

金壹萬圓	明治三十三年度
金四萬圓	同 三十四年度
金五萬圓	同 三十五年度
金五萬圓	同 三十六年度
金五萬圓	同 三十七年度
金五萬圓	同 三十八年度

岡山市水道費補助

岡山市ハ交通頻繁ノ要地ナルモ飲料水不賈ナルニ依リ水道施設ノ必要ニ迫リ之カ設計ヲナシ市公債ヲ募集シ起工セントスルニ總工費八拾參萬七百四拾參圓貳拾九錢ヲ要シ市民ノ負擔ニ堪ヘ難キヲ以テ國庫ノ補助ヲ出願セリ依テ其已ムヲ得サルノ必要ヲ認メ貳拾萬七千圓ヲ本年度以降六箇年間ニ左ノ割合ヲ以テ補助セントス但本年度ハ歳出臨時部第一款第九項ニ屬ス

金壹萬圓	明治三十三年度
金參萬九千四百圓	同 三十四年度

金參萬九千四百圓	同 三十五年度
金參萬九千四百圓	同 三十六年度
金參萬九千四百圓	同 三十七年度
金參萬九千四百圓	同 三十八年度

福岡縣若松港浚渫費補助

若松港ハ九州ノ要港ニシテ其改良工事ハ若松築港株式會社ノ企業ニ係リ頗ル製鐵所ノ事業ニ關係ヲ有スルヲ以テ既ニ同所創立費ヨリ補助スル所アルモ尙ホ一般公益ニ關スル浚渫區域ノ擴張ヲ要シ之カ設計ヲナスニ其工費八拾貳萬圓ニシテ到底會社ノ負擔ニ堪ヘ難キヲ以テ國庫ノ補助ヲ出願セリ依テ其工事ノ必要ト會社負擔ノ重キトヲ認メ五拾萬圓ヲ本年度以降六箇年間ニ割合左ノ條件ニ依リ補助セントス但本年度ハ歳出臨時部第一款第二十項ニ屬ス

一 浚渫區域ハ中ノ島葛島間海底延長八百四十間平均巾百七十七間二分トス但製鐵所浚渫ニ係ル長六百四十間平均巾三十四間一分ハ之ヲ除ク

一 浚渫ノ水深ハ干潮面以下二十尺以上トシ且將來此水深ヲ維持スヘシ

一 浚渫ハ明治三十九年三月末日迄ニ竣功スヘシ

期限内豫定通り工事進行セサルトキハ補助金ヲ中止ス

期限ヲ過キ竣功ノ見込ナキトキハ補助金ヲ廢止シ既給ノ補助金ハ直チニ之ヲ還付セシム

金五萬圓	明治三十三年度
金九萬圓	同 三十四年度
金九萬圓	同 三十五年度
金九萬圓	同 三十六年度
金九萬圓	同 三十七年度
金九萬圓	同 三十八年度

京都府道路修築費補助

舞鶴軍港設置ニ付之ニ通スル豫定國道開設ノ爲メ總工費參拾貳萬六千四百八圓拾參錢五厘ヲ要シ國庫ノ補助ヲ請求セリ
依テ其必要ヲ認メ貳拾壹萬七千圓ヲ本年度以降三箇年間ニ左ノ割合ヲ以テ補助セントス但本年度ハ歲出臨時部第一款第

二十一項ニ屬ス	
金五萬圓	明治三十三年度
金八萬圓	同 三十四年度
金八萬七千圓	同 三十五年度

海軍省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ要求書

憲法第六十二條ニ據リ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ要求

一特別會計ノ經濟ニ係ル海軍造兵材料ハ造兵事業其他軍事上準備ノ必要ニ伴フテ年度開始ヨリ之カ供給ヲ要スルモノアリ其支出ハ次年度ニ於テスト雖モ之カ注文ハ急ナラサルヲ得サルニ依リ左ニ掲クル金額ニ過キサル物品購買ニ對シ三十四年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ三十三年度ニ於テ結フコトヲ要ス

海軍造兵材料資金歳出第一款第一項

造兵材料費

全額拾萬圓